

就職支援希望アスリート「エントリーシート」

ふりがな	ないとう みゆ	性別	生年月日・年齢	
氏名	内藤 未唯	女	2002年12月24日	
競技名／種別(種目)	陸上競技(競歩)		21 歳	
出身地	栃木県			
現住所	神奈川県横浜市			
所属先	神奈川大学			
練習場所	神奈川大学中山キャンパス総合グラウンド、新横浜公園、自宅周辺のロード			

【選手プロフィール】

■学歴・職歴

年	月	学歴・職歴
2021	3	栃木県立石橋高等学校卒業
2021	4	神奈川大学人間科学部人間科学科入学
2025	3	神奈川大学人間科学部人間科学科卒業見込み



■免許・資格

なし

■国際大会の主な戦績

年	月	大会名	戦績
2023	7	第25回アジア陸上競技選手権大会(2023/バンコク)	4位

■国内大会の主な戦績

年	月	大会名	戦績
2022	9	第91回日本学生陸上競技対校選手権大会(2022/京都・たけびしスタジアム)	2位
2022	10	第59回全日本35km競歩高島大会(2022/山形・高島)	優勝
2023	2	第106回日本陸上競技選手権大会・20km競歩(2023/兵庫・神戸)	4位
2023	10	第60回全日本35km競歩高島大会(2023/山形・高島)	優勝

■自己PR(競技で培った能力や経験を通じて企業に貢献できる内容など)

陸上競技を通じて、継続力や忍耐力、自己管理能力、考える力、気づく力を培い成長できていると実感する。競歩は自ら進んで取り組んだ競技であったため、高校生の時からオフの日以外は練習を毎日欠かさず行ったり、どんなに辛くても途中で諦めなかったりと、常に目標達成のために粘り強く努力をしたことで継続力や忍耐力を習得できたと考える。家族の負担にならないようにアルバイトをしながら、食生活や睡眠などを徹底し、規則正しい生活を心がけてきたので、自己管理能力も身に付いたと考える。大学でのポイント練習はコーチとの内省を欠かさず行い、それ以外の自主練習は日々の状態の変化を確認し、強くなる方法を試行錯誤しながら練習を組み立ててきたことで考える力や気づく力が培われ、高校の入部当初はマネージャーであったが、大学ではアジア選手権といった大きな舞台に出場できるようにまで競技力を向上させることができたと考える。

自身の競技経験から仕事で難しい局面や壁にぶつかった時は、怪我やスランプを乗り越えてきた経験を活かし、動じることなく妥協せずに最後までやり遂げられると考える。また競技で培ってきた能力は地道にコツコツと行う作業や業務のスケジュールを計画し実行して管理することも活かせると思う。

今後の目標として、東京世界陸上の出場、ロサンゼルス五輪で競技人生最大のパフォーマンスを発揮することを第一目標とし、競歩で社内に明るくできる存在になりたいと考えている。また社員の皆様に応援される選手になれるよう、日頃から感謝の気持ちを忘れずに競技と仕事との両立に取り組み、競技引退後は社員として企業に貢献していきたいと考えている。

【採用検討企業への情報】

就職希望条件	
①職種・仕事内容	物事にコツコツと取り組むことを得意とするため、業務内容が定型的でタスクが明確な事務職人が生きていくために欠かせない「食」を支える食品業界
②勤務地	東京や神奈川
③勤務日数・時間帯	週3~4の半日勤務希望